

～教員インタビュー（大島編①）～

大島町立さくら小学校 主任教諭

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

前任の地区で仲の良かった同期が1年先に大島に赴任し、自慢をたくさん聞かされているうちに私も興味をもちました。それで夏に家族旅行で来てみたところ、自然や人の温かさに感動し「私もここで働きたい!」と思ったのがきっかけです。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

とてもプラスなことだと思います。児童一人一人の理解を深めることができる時間が増え、習熟度や興味関心に合わせた手厚い支援ができます。また、大島の大自然や地元の産業を取り上げた体験型の探究学習を数多く行えることなどのよさがあります。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

子どもたちや地域の方々との関係性です。内地では毎年クラス替えがありますが、島では保育園から高校卒業まで同じメンバーということもあります。子供たちにとって安心できる環境です。また、地域の方々が皆子供たちのことを知っているため我々教員も安心して地域の方々に頼りにすることができます。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

仕事面ではほとんどイメージ通りで地域の方々の温かな支援のおかげで、のびのび教育活動を行うことができます。また、私自身、虫があまり得意ではなく、赴任前にはとても心配していましたが実際に来てみるとあまり気にならないことに驚きました。

5 島だからできたことがあれば教えてください。

教員研修です。「大島まるごと学校」を掲げ、毎年教員一人一人が追究したいを決め、そのテーマに詳しい地域の方からお話を聞いたりフィールドワークをしたりして理解を深めます。私は昨年度くさやや明日葉など大島の伝統的なものについて調べるために

4名の島の方に講師になっていただきました。そこで学んだことを総合の学習などで子どもたちに還元することができました。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

家族で自然と触れることがとても多いです。特に海が好きで、子供たちと磯にあるタイドプールで生き物をつかまえて観察したり、釣りをしたりして過ごしています。生き物が苦手だった子供たちが生き物に興味をもつようになったのは嬉しかったです。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

ぜひおすすめします！島にあるすべての「ひと・もの・こと」が教材になります。様々な場所に出かけて、子供たちと一緒に1から学んでいくのはとても楽しいです。一緒に働けること楽しみにしています。

～教員インタビュー（大島編②）～

大島町立つばき小学校 主任教諭

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

高校までは、東京の市部で過ごし、東京都の教員になってからは、2つの区で働きました。市部で育ち、区部で働いていたころ、大島町に旅行で行く機会があり、大島町の魅力に惹かれました。この自然豊かな素晴らしい環境の中で、子供たちはどのように過ごしているのか、子供たちと関わってもっと知りたい、ここで働いてみたいと思ったのがきっかけです。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

全校児童で、114人ですが、全員の名前と顔が分かるのは人数が少ないからだと思っています。1クラス平均約20人弱なので、子供一人ひとりにたくさん声をかけてあげることができます。よさを見つけやすかったり、課題にじっくりと向き合えたりする良さもあります。また、たてわり班で掃除をしたり、遊んだりしているので、学年関係なく仲が良いのもいいところです。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

生活圏内に、学校があることです。お店に行けば、児童や保護者に会います。温泉でも公園でも、お祭りでも会います。自分の子供が同じ学校にいる教員も多いです。同僚の子供を担任することもあります。通勤時間が短いので、その時間を教材研究に費やせたり、自分の家族との時間に使えたりする良さもあります。仕事内容は、内地の学校と大きく変わらないと思います。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

ほぼイメージしていた通りです。教員という肩書もありますが、地域に住んでいる人として関わってくれることもあり、自分の中では、学校では先生、学校外では地域住民として生活しています。もちろん、教員ということは常に念頭に置いて、恥ずかしく

ない行動をしているつもりです。

5 島だからできたことがあれば教えてください。

地域のことをよく知っている人に授業をしてもらえることが多いです。地域に伝わる伝統的な踊り、三原山のフィールドワーク、魚を使った授業など、体験的な活動は、島ならではの感じがします。運動会で、地域の方も一緒に、伝統的な踊りを踊る時間が好きです。

6 日常生活での買い物はどうしていますか。

大島ではスーパーマーケットがいくつかあるので、休日にはいろいろなお店に行ってお買い物をするのを楽しんでいます。詳しい人に特売の話を聞いて出かけたり、お店の人と話をしたりするのが楽しいです。新鮮な野菜を売っているお店、おいしい魚があるお店、総菜がおいしいお店など、できるだけ島内で買い物をするようにしています。もちろん、インターネットで注文して買うこともあります。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

海が近いので、海で遊ぶことが多いです。釣り、海水浴、貝殻拾いなど、自分の子供たちと遊んでいます。公園もいくつかあり、学校の子供たちにも会いますが、みんなで楽しく過ごしています。あまり人に会わない静かな場所もたくさんあるので、家族だけで過ごしたいときは、そのような場所を選んで出かけることもあります。新しい飲食店もよくできるので、休日には家族で食べに行っています。何回か通うとすぐに顔を覚えてくれるので、お気に入りの店に行くことも多いです。

8 島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

3月の別れの時です。島を離れていく友達、先生方の見送りが素敵です。今はできなくなりましたが、大型船のデッキから、色とりどりの紙テープが風になびいている景色は鮮明に焼き付いています。船が出港する時間には、たくさんの島民が集まって別れを惜んでいる姿はとても印象的です。みんなから惜しまれて島を離れていくのだなと強く実感できます。

9 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

目の前の子供たちに向き合える時間、家族と向き合える時間、自分と向き合える時間がたくさん取れることです。どこで生活しても24時間は変わらないはずです。24時間の使い方が、内地で生活するのと変わっている、または意図的に変えさせてくれるのが島の魅力かもしれません。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

人生は一度きりですので、迷っていたら挑戦するのをおすすめします。子供たちはとても素直なので、子供たちが学習をしていて、「わかったとき」、「できたとき」の嬉しそうな顔がたくさん見られます。保護者と会う機会も多いので、直接子供の成長を伝えることができるよさもあります。学校、家庭、地域が一体となって子供たちを育てているのが実感できるので、そのような環境で働いてみたいと考えている方は、ぜひ島に来てください。一緒に働くことを楽しみにしています。